

声 VOICE

観光を支える方々の声を寄稿、インタビューを基にお届けします

旅行会社の存在意義

2020年から続く新型コロナウイルスの影響により観光産業はどん底に突き落とされました。最初の緊急事態宣言が発出された昨年4~6月の収入は「減少」ではなく「ゼロ」となり、感覚が低下している。現在も平時の半分の以下しか売上がない。これは本当に厳しい状況です。それは当社の含み販売規模の大きな旅行会社は経営上大きな苦境に立たされ、人員削減や増資・減資という措置を余儀なくされたことは周知のことです。

当時、私は東北6県を管轄する立場にあり、震災後10年となる東北に貢献するべく取り組んでいました。が、コロナの影響を直接受けて収入はほぼなくなり、業務も停滞しています。安旅に代表されるように、コロナの影響を直接受けた観光客は減少しています。防衛費を除く国200を超えてきた自治体の財政は厳しく、コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

時代に合わせた転換を

日本旅行取締役兼執行役員

吉田 圭吾 氏



大半が発地事業であり、地元への経済効果という面では貢献度が薄く捉えられがちです。特に今回のような非常時においては、支援対象の事業として優先度が低く置かれていたと感ずきました。旅は人の心を豊かにするものであり、その役割は時代を超えて変わらないうえ、観光客の増加も観光産業の発展に大きく寄与しています。コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

「旅な需要」吸収

地域と共にコロナ後の観光を創る

JTBたびなネット (旧JTB旅行スタンプ加盟店連盟)

河合 徹 氏



近年、旅行業者の新たな収益領域として注目されているのが「旅な」です。旅行者が旅をする中で行う行為全般を指す概念なのですが、あらかじめすべての予定を組んで旅行する団体旅行と違い、個人旅行者は宿泊や目的までの交通手段を除いて、自ら食事場所やアクティビティ、お土産などを検索、手配しながら旅をしています。

従来、この領域は旅行業者に任せていた。今後は旅なに積極的に関与し収益化していく動きです。そのサービスを提供するサプライヤーに私たち観光施設が含まれます。スマートフォンがあればいつでも調べられ、その口コミも参考にでき、動画で確かめたりできるような仕上がりになっています。私たちが観光施設として発信しているのは、地域を軸とした商品やサービスです。地域DMO等と協力しての商品を販売したいという思いが強いです。お土産だけでなく、地域DMO等と協力しての商品を販売したいという思いが強いです。お土産だけでなく、地域DMO等と協力しての商品を販売したいという思いが強いです。

自動車ユーザー団体としての取り組み

車の有効性が見直されている今、何が待っているか

日本自動車連盟(JAF)事業推進本部長 兼テレマーケティングチームマネージャー

池田 義則 氏



創設1963年以来、会員の方をはじめ、自動車関係者、協定自治体、優待施設など多くのステークホルダーに支えられ、在籍会員数は2021年10月末をもって過去最高となる2千万人を超えました。

コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

コロナ禍でお客さまが求めるもの

発信の情報志向のモノを

観光情報総合研究所 夢野 代表

中村 修 氏



かつて海外ウエディングを申し込まれた定期的に対し、現地情報を定期的に届けるという手法が取り入れられていました。今や海外OTAを利用して予約するや、現地からの情報収集したコンテンツもその一例です。

コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

ユニバーサルツーリズムの未来と可能性

理解からアクションを

office FUCHI~オフィス・フチ~ ユニバーサルツーリズムアドバイザー

淵山 知弘 氏



私は昨年7月まで旅行会社で30年勤務し、そのうち約20年はユニバーサルツーリズムで関わっていました。1つの特長に、残りのツアーを紹介するのではなく、ユニバーサルツーリズムの魅力を伝えることです。

コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

地域の広域連携がピンチを打開する

旅行者の滞在期間増加を目指す効果的な発信

宇都宮東武ホテルグランデ総支配人

熊井 尚 氏



コロナ禍が2020年初頭に本格化し、観光産業に深刻な打撃を与えました。その中で、観光客の滞在期間を延ばすことが一つの突破口として注目されています。

コロナによる落ち込みは各地での消費減退と誘客競争にも影響を及ぼしています。コロナは観光産業をどう変革させるか、時代に合わせて進むべきか、これらは観光業界の大きな課題として残っています。

